



雲南市各第三セクター等の経営状況

現在、市が出資または出捐する法人（第三セクター・財団法人）は8法人あり、このうち地方自治法第243条の3第2項の規定により、市議会に報告した市の出資割合が2分の1以上である6法人について、平成17年度の経営状況をお知らせします。（事業内容は、平成18年度のものに記載しております）

株式会社遊学

平成6年4月1日設立
資本金3千万円

（市の出資割合80%）

「古代鉄歌謡館」、「大東公園」、「加茂文化ホールラメリ」、「加茂B&G海洋センター」、「加茂中央公園」、「チエリヴァホール」、「三刀屋文化体育館アスパル」の管理運営及び各施設におけるスポーツ・文化事業の企画運営。

売上高	9,427万円
当期利益 ^{※1}	7千円
未処分損失 ^{※2}	19万7千円

売上高には、委託料8,443万7千円（税込）を含む。



木次道の駅株式会社

平成13年4月5日設立
資本金2千万円

（市の出資割合51%）

道の駅「さくら」の里さすき」の管理運営。

売上高	2億0,380万7千円
当期利益	462万1千円
未処分利益	713万7千円

売上高には、委託料119万7千円（税込）を含む。



木次都市開発株式会社

平成2年4月2日設立
資本金1千300万円

（市の出資割合86.2%）

「おろち湯つたり館」、「サンワーク木次」、「木次健康の森」、「木次バスセンター」の管理運営及び木次地域市民ハスの運行等。



売上高	1億8,765万7千円
当期利益	66万2千円
未処分利益	313万3千円

売上高には委託料15,320万1千円（税込）、補助金715万円を含む。

株式会社みとや

平成12年1月7日設立
資本金3千万円

（市の出資割合58.3%）

「明石緑が丘公園」の管理運営。

売上高	6,827万円
当期利益	58万1千円
未処分利益	69万2千円

売上高には、委託料2,896万円（税込）を含む。



財団法人三刀屋

平成10年11月24日設立

資本金3千万円

（市の出捐割合100%）

「三刀屋総合営農指導拠点施設」の管理運営、花き等の栽培販売等。

収入	3,109万6千円
収支差額	157万円
次期繰越収支差額	284万3千円

収入には、委託料360万円（税込）、補助金1,469万6千円を含む。



財団法人鉄の歴史村

昭和63年11月16日設立

資本金6千万円

（市の出捐割合50%）

「たたら製鉄に関する文化事業の企画運営」、「鉄の歴史博物館」、「鉄の未来科学館」、「山内生活伝承館」、「木の国文化館」及び「食の幸ふるさと屋」の管理運営。

収入	4,004万8千円
収支差額	141万3千円
次期繰越収支差額	241万7千円

収入には、委託料3,154万4千円（税込）、補助金142万円を含む。



このほか、市の出資割合が2分の1以下の第三セクターは、次のとおりです。

株式会社ダイト

昭和63年3月11日設立

資本金3千万円

（市の出資割合36.9%）

「大東健康ランドゆとりの里」、「大東農村環境改善センター桂荘」、「大東憩いの家がじか荘」、「大東ふれあいパーク」の管理運営。



株式会社吉田ふるさと村

昭和60年4月1日設立

資本金6千万円

（市の出資割合33.3%）

農産加工品の販売、「広域路線バス」、「吉田地域市民バス」の運行、国民宿舎「清風荘」の管理運営及び水道施設工事等。



※1 当期利益 純利益・当期純利益とも呼ばれ、ある会計年度内で最終的に法人に残るお金のこと。
※2 未処分利益（損失） 当期未処分利益（損失）のことであり、前期までの累積赤字・黒字に当期利益を加減したもの。
例えば前期決算時に100万円の累積赤字があり、当期利益で120万円黒字が出た場合、未処分利益は20万円となり、これを翌年に繰り越します。

なお、道の駅「掛合の里」、「掛合の里緑地公園」管理運営等を行ってまいりました「掛合農村開発株式会社」については、株主総会において解散決議がされ、現在、清算手続を行っています。



今後、雲南市では、決算資料等を踏まえながら定期的な点検評価を実施し、市民の皆様の声を反映したより一層効果的かつ効率的な運営となるよう努めていきます。